

# THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区  
木更津東ロータリークラブ  
2019-20 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111  
●事務局 木更津市東中央 3-5-2 第2 三幸ビル 101 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2019-20 年度国際ロータリーテーマ

ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THE WORLD

第 27 回 例会 NO. 2484

2020 年 2 月 5 日 (水)

日本百名城 平戸城【長崎県平戸市】



《今年度のトップ写真は日本百名城を掲載いたします。撮影者：栗坂禎一会員》

■司会進行 大澤藤清 副 SAA



- ◆点鐘 加藤智生会長  
12時30分
- ◆国歌斉唱「君が代」  
Rソング「奉仕の理想」
- ◆出席 会員 46名  
出席 37名・欠席 9名
- ◆出席率 86.04%

◆メイクアップ【敬称略】

- ・2/1 RLI パート1 山田修平
- ・2/2 補助金管理セミナー  
松岡邦佳・吉田和義
- ・2/5 理事会  
加藤智生・松岡邦佳・渡邊慎司  
近藤直弘・渡邊元貴・藤永範行  
林孝二郎・内田 重・鶴岡大治  
塚本秀夫・佐藤丈夫・大里光夫

◆前々回出席率 76.19% 修正後出席率 80.95%

◆欠席者【敬称略】

嶋津正和・齊藤新一・林田謙志・倉島和広  
鈴木秀幸・根本光宏

2月1日にご逝去されました有島会員のご令室  
有島淑子様を偲んで黙祷を捧げます。

ホームページ <http://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 加 藤 智 生  
幹 事 藤 永 範 行  
編 集 堀 内 正 人

国際ロータリー

RI 会 長 マーク・ダニエル・マローニー  
地区ガバナー 諸 岡 靖 彦  
ガバナー補佐 小 川 義 則

◆誕生祝 1/21 叶川博章・1/26 平野秀和  
1/31 林孝二郎

お誕生日  
おめでとう!



### ■米山奨学金授与

加藤智生会長



### ■会長挨拶・報告

加藤智生会長



冒頭黙祷をささげさせていただきましたが、有島さんの奥様は特にこのロータリークラブを愛してくれていたそうです。毎年行われている納涼例会やクリスマス例会にもいつも参加していただいていたこと、昨日のように

思い出されます。心より御冥福申し上げます。  
さて、本日は2月5日、双子の日です。50年位前までは双子が占める割合は1%だったのに対して、現在は2%だそうです。うちの子供も双子で、一卵性、二卵性とありうちの場合は二卵性の双子になります。双子の子育てというのは本当に大変で、悩んでいる母親がすごく多いそうです。いくつか例に出しますと、「双子育児がっつらすぎて、一時期は泣いてばかりいました。2人同時に風邪を引いたときなんて最悪で、ごはんが食べられないから泣く、眠たいのにしんどくて寝られないから泣く。1人なら抱っこして集中的に見てあげることが出来ますが、2人だと同時に抱っこするわけにもいかず、1人を抱っこしては降ろして、1人を抱っこしては降ろしての繰り返し。降ろすと泣くので、2人とも永遠に泣いている。もうその時はお手上げ状態で、私も2人と一緒にずっと泣いていました。」とか、「買い物も大変です。ベビーカーは大きくて邪魔ですし、子供が歩くとなると2人を見ながら余裕のある買い物なんてできない。電車に乗ったときは周囲にベビーカーで嫌な顔をされ、2人して騒ぐのでまた嫌な顔をされ、最後は2人してぐずるので収拾がつかなく

なり、途中下車してタクシーで帰ってきました。」  
といったことが多く、双子の親は子育てに嫌になって自殺を考える方が多いそうです。実際私の奥様もそうとう大変でした。このロータリー活動ができるのも家族の理解があつてのことです。感謝したいと思います。

### ■幹事報告

藤永範行幹事



#### 1. 幹事報告

1) 本日例会終了後、第8回定例理事会が開催されますので理事の出席をお願いいたします。

#### 2. 他クラブからのお知らせ

1) 木更津 RC より「週報」が届いておりますので回覧いたします。

#### 3. その他のお知らせ

1) 社会福祉法人一粒会より「新年のご挨拶」が届いておりますので回覧いたします。

#### 4. 回覧

・木更津 RC より「週報」  
・社会福祉法人一粒会より「新年のご挨拶」

### ■委員会報告

#### ◇Rの友1月号紹介

倉島和広会員

【担当委員欠席のため、原稿を配布しました。】

2月号は平和構築と紛争予防月間です。また2/23はロータリー創立記念日です。

- 1、縦組み4ページ～ 「スピーチ」聞こえる世界から聞こえない世界へ  
ユニバーサルデザインアドバイザーの松森氏の講演趣旨。氏は耳が聞こえないハンディを背負ってします。健常者はなかなか気が付きませんが日本で上映される邦画の約13%しか字幕がないそうです。そしてバリアフリーとユニバーサルデザインの違いなどにも触れています。バリアフリーは既存の環境からバリアをなくしていくこと。ユニバーサルデザインは最初からバリアを作らないことだそうです。私も最近小林会員のご厚意で耳の聞こえ具合の測定をしていただいたことから気になった記事でしたのでご紹介します。
- 2、縦組み27-28ページ「ロータリーアットワーク」より  
2790地区から勝浦 RC のフィリピンへの少年少女に安全な野球環境への寄贈の件と柏南 RC からケニアの子供たちへ音楽演奏の教育支援の活動に対する紹介があります。
- 3、横組み3ページ「RI 会長メッセージ」から RC 創立115周年。創立以来変わることなく親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップを保つ「超我の奉仕」という標語が1911年に掲げられたそうです。～中略～ロータリーは世界をつなぎながら人々の暮らしを向上させていく。
- 4、横組み7ページ～ 「特集、島の RC」  
島の RC の活動紹介として6島のクラブを紹介しています。島グルメなどもありユニークな内容です。
- 5、横組み22～ 「ポリオのない世界」を想像しながら

10/24 の世界ポリオデーにちなんだ全国各地での代表的な活動内容が掲載されております。

## ◇ニコニコボックス

### クラブ管理運営委員会

### 宮寺順子 会員



・林孝二郎 会員  
74 才になりました。昨日のゴルフで 93 と私にしては良い成績でした。エイジシュートを目指してさらに年をとり、ゴルフの腕も上げていきたいと思っております。

### ・叶川博章 会員

近年、自分の年が分からなくなってきました。光陰矢の如しと言いますが年をとるのは本当に速いものです。66 才になりました。この調子でいくと来月には 67 才になりそうです。

### ・大澤藤満 会員

結婚記念日のお花を戴き有難うございます。普段は記念を花が届くことではるか昔を思い出す次第です。女房の笑顔がなによりです。お陰様で我が家は幸せであります。

### ・塚本秀夫 会員

「勝手に木更津応援団」代表として、勢力的に活動している、若手のホープ、嶋田一彦さんに卓話をして頂きます。私も楽しみにしております。

### ・宮寺順子 会員

皆様ごぶさたして申し訳ありませんでした。お正月と節分会とぶじ終わり、ひと段落つきました。これからも高倉観音をよろしくお祈りします。

## ■例会アワー

### 進行 社会奉仕委員会

### 塚本秀夫 会員



「木更津の街をもっと楽しく、もっと元気に」

勝手に木更津応援団の地域への想い

### 勝手に木更津応援団 代表 嶋田一彦 様



皆さん、こんにちは。「勝手に木更津応援団」、代表の嶋田一彦と申します。弁護士の塚本先生より講演の依頼を頂きまして、今日

は地元の大先輩方を前に、はなはだ僭越ではございますが、私が代表を務める「勝手に木更津応援団」の活動内容や運営方法、そして、「ボランティア活動を成功させるための仕組み作り」につきまして、精一杯お話しさせて頂ければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

本題に入る前に、簡単に自己紹介させて頂ければと思います。

私は 1977 年、昭和 52 年生まれで、現在は 42 歳です。木更津市の笹子地区に、父は千葉県庁職員、母は小学校教諭という家庭に双子の兄として生まれました。学校は地元東清小学校、清川中学校、君津高等学校で学び、大学は幕張にある神田外語大学へ進学しました。大学卒業後は、東京に出て旅行会社の H. I. S. に就職し、その後転職をしたのち、8 年前より現在のソニー生命保険(株)で完全歩合制の営業の仕事をしております。家族は妻と 9 歳の息子の 3 人家族で、木更津市内に暮らしています。



それでは、本題に入りたいと思います。まず初めに、皆さんに質問がございます。以前より、「勝手に木更津応援団」を知っていた方は挙手をお願い致します。ーありがとうございます。



「勝手に木更津応援団」は、2012 年に木更津市内に住む 30 代の会社員、若手経営者を中心に設立された任意のボランティア団体です。応援団のモットーは、「木更津の街をもっと楽しく、もっと元気に！」 & “Action” この 2 つをスローガンに掲げ活動しております。この「勝手に木更津応援団」という団体名ですが、正直ちょっと変わっていると思いますが、皆さんいかがでしょうか？

この団体名の由来はですが、行政や誰か他人に頼るのではなく、それこそ勝手に“自分たち自らが行動し、この大好きな木更津の街を良くしていきたい。そういう想いが込められています。

現在の活動の柱としては、

- ・木更津あかり祭り「夜灯」の開催。 昨年が 6 回目
- ・子育て支援活動として「ココカラ親子カフェ」を毎月開催(4 年目)
- ・絵本回収&絵本の寄付活動。寄付は 2,000 冊を超えました。
- ・きさらづ干潟運動会の開催。昨年初開催
- ・毎月のニューズレターの発行。毎月 5,000 枚を配布。

今、団体は設立して 8 年目になりました。その中には、たくさんの失敗や挫折もありましたが、いろいろな試行錯誤を続ける中で、私たちの活動が、NHK の朝の“おはよう日本”に 5 分間も取り上げて頂いたり、読売新

聞や朝日新聞、新千葉新聞、Jcomなどのマスメディアにも多く掲載頂いてきたことは、正直励みになりました。

今回は時間の都合もございますので、木更津あかり祭り「夜灯」のことについてお話しさせていただきます。お手元のパンフレットをご覧ください。

「3人」

この数字は何を意味すると思われますでしょうか？

これは「夜灯」を開催するにあたり、運営として係わった人数です。私を含め、わずか3人で運営を致しました。ボランティアを辞書で引くと、自ら進んで他人・社会に無償で奉仕する人、活動を指す。

- ・ボランティア活動は自発的な活動です。
- ・活動を強制することはできません。
- ・無償で奉仕することです。

それでは、ボランティア活動を成功させるためには、いったい何が必要なのでしょう？

会社は、「人×もの×お金」、この3つが必要不可欠と言われます。私の考えですが、ボランティア活動を成功させるためには、次のことがポイントであると考えています。

1. 想いを明確にする。何を実現したいのかをはっきりさせる。
2. 行動を起こす。考えてばかりでは何も始まりません。
3. お金をどうするのか。継続的な活動には資金確保が重要です。
4. 戦略を練る。マーケットの絞り込み、資金確保のための仕組み作り。

それでは、勝手に木更津応援団の戦略とはどういったものなのか、

1. 子育て世代でのマーケット NO.1 を目指す。  
絵本回収活動、や子育て支援活動をベースとして、夜灯は市内ほぼ全ての幼稚園児・保育園児が参加する。イベントとして、子育て世代中心のマーケットを絞りました。夜灯は、実際に自分の子供たちが描いた絵を飾ることで、当日家族そろって会場に観に来る仕組みになっています。
2. 情報発信力を最大限に活用する。  
Facebook は約 1,600 いいね！、ニュースレターは毎月 幼稚園・保育園へ子育て情報等を 5,000 部を配布しています。
3. 複数のスポンサー企業を継続的に得る
  1. 2をしっかりとやり切ることで、子育て世代のマーケットを魅力と感ずる 企業、法人への営業がしやすくなります。夜灯の灯籠の下部には企業スポンサーのロゴが入っています。そして、この灯籠はすべて幼稚園・保育園へ返却して、幼稚園・保育園から各家庭へ子供たちが灯籠を持ち帰る仕組みになっています。ひと手間加えることでスポンサーメリットが拡大し、スポンサー企業に長く支えて頂く仕組みができる訳です
4. 人の繋がりを大切にする。さきほど、夜灯の運営は3人言いましたが、もちろん3人ではイベントを実現することができません。実施にあたり、木更津市役所の若手ボランティア団体のオーガニック応援団の皆さん、自衛隊の木更津駐屯地曹友会の皆さん、木更津第一小学校、富士見通り商店街、木更津みらいラボ、木更津商工会らづビズの瀬沼さん、スポンサー企業の皆さん、そして、他多数の無名のボランティアの皆さん一人一人のご協力のおかげでイベントの開催が出来ております。一人一人の力は小さくても、それを結び付け、それを束ね、そして発展させることで、大きな力にすることができる。ボランティアの皆さんがいなければイベントを成功させることができません。ボランティアの皆さんが主役になれる様に、お手

伝い頂ける内容は、大人も子供も誰でも、当日来てすぐにボランティアできる様な、とてもシンプルで単純な作業内容にしています。

これからも、ボランティアの皆さん一人一人が輝けるイベント運営を心掛けていきたいと思っています。

最後になりますが、「勝手に木更津応援団」を立ち上げた7年前とは木更津市の状況も大きく変わってきた様に思います。私のような普通の会社員でも、この様なイベントを開催することができたということは、とても意味のあることだと思いますし、今後も応援団の活動が木更津市の発展や魅力アップに少しでも貢献することができるよう務めていきたいと思っています。

“人のやらないことに挑戦し、社会に貢献する” ソニー創業者の一人、盛田昭夫氏の言葉で、私の座右の銘です。社会貢献することが、自分自身の成長ととらえ、今後もいろいろ挑戦していければと思っています。

もし、勝手に木更津応援団の活動にご興味ございましたら、是非お気軽にお声がけ頂ければ幸いです。

ご清聴頂きありがとうございました。



《我が街、木更津へのご貢献に感謝いたします。》

## 本日のメニュー



点鐘 加藤智生会長 13:30